

技術士 2 次試験に合格して



江端 貢

(えばた みつぐ)

勤務先

ダイシン設計株式会社

〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 1 番地 23
TEL 011-222-2327 FAX 011-222-9103
E-mail m-ebata@dacc.co.jp

■ 専門：建設部門 (道路・道路計画)

1. 自己紹介

私は 1962 年 (昭和 37 年) 生まれで現在 61 歳です。1985 年 (昭和 60 年) に室蘭工業大学を卒業し、建設会社に就職しました。その後、転職して北海道職員となり主に道路行政などに携わりましたが空港・下水道事業にも携わることができました。2022 年 (令和 4 年) 3 月に道職員を退職して同年 5 月からダイシン設計株式会社に勤務しています。結果的にゼネコン、役所、コンサルの 3 分野を経験することができました。現在の会社に就職して 3 年目となります。

2. 受験の動機

道職員も終わりが見えてきた令和 2 年の道庁建設部都市計画課勤務の時に、自分への挑戦として技術士の取得を考えました。室蘭工業大学は卒業時 JABEE 認定が無かったので、1 次試験から受験しなければならず、物理や土質、構力など当時工学部土木系の大学生であった長男の力も借りて勉強し合格することができました。その後、翌年は結果的に道職員最終年度となりましたが、2 次試験は受験しませんでした。道職員を退職してコンサルタントに再就職したことで、技術士を取得したいという考えが高まり、再就職 2 年目となった昨年、会社の技術士取得支援委員会のプログラムに参加させていただき受験することができました。

3. 筆記試験について

社内の初回勉強会に 2 月に参加してから本格的に試験対策を開始することになりましたが、私はまず願書の作成方法について、道職員退職後に技術士を取得した社長から経歴書と業務詳細の記載について親身に指導して頂き数回の修正を行いながら 3 月の約一月をかけて願書を完成させることができ、このことが筆記試験の訓練にもなったと思います。

願書提出後は本番の一月前の 6 月に実施される社内模試に向けて勉強を進めました。国土交通省のホームページで資料を検索するなどして予想問題の解答骨子表を作成し必須問題対策を行うとともに、法律改正などのトピックを中心に選択問題の対策を行いました。しかし、6 月の社内模試は勉強不十分の状態に臨むこととなってしまう、社長の採点結果は必須問題、選択問題ともに合格ラインの 6 割に達しないものでした。採点結果に基づき改善点について、社長からの指導に基づきロジックの見直しを含めて予想問題の解答論文を作成し直しました。7 月に入ってからそれまで作成した資料を暗記する期間として書く練習とスマホに録音したものを通勤時などに聞いて覚えることを行いました。

4. 口頭試験について

筆記試験終了後は解答骨子の復元を行い、それなりに手ごたえはありましたが、10 月末の合格発表まで口頭試験対策をしていませんでした。10 月末に合格通知が来てから口頭試験対策を開始しましたが、12 月上旬の試験まで約一月しかなく、技術士法や技術士倫理綱領など覚えることも多く、筆記試験可否通知前の 10 月初め頃から準備すれば良かったと後悔しました。会社の技術士取得支援委員会で社長などから 3 回の模擬口頭試験を実施していただき、幸い合格することができました。

5. 今後の抱負

私は社内の技術士取得支援委員会に参加して技術士に合格できたと思い、大変感謝しています。今後は社員の皆さんの受験対策に微力ながら協力できればと考えています。また技術士となったことで広がる交流の機会を大切にして、自覚をもって業務にあたり、社会貢献に少しでも寄与できるように研鑽を継続していきたいと考えています。